

(別紙5)

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-2-032  
補助事業名 平成26年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

##### 【巡回療育相談】

医師・看護師・専門指導員(保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・相談支援専門員等)等療育の専門家で療育相談班を編成し、在宅で生活をする重症心身障害児(者)(以下「重症児(者)」という)及び保護者の療育・相談に応じる。障害・病気・療育のことだけでなく、教育や日常生活上の悩みなど幅広い相談に対応する。また目まぐるしく変わる障害福祉制度に関して正しい情報を提供し、サービスの利用方法なども案内し、障害児(者)の生活がより豊かになるよう支援する。様々な職種を相談班に入れることでその場であらゆる悩みに対応することができ、保護者の不安を解消することにつなげる。実施地区の実情に応じて会場形式か家庭訪問形式で行う。

##### 【集団指導】

重症児(者)とその家族を対象に1泊2日の集団指導を行う。重症児(者)にはスタッフやボランティアとの交流を通し社会性を広げ、様々な体験の機会を与える。保護者に対しては日常生活から離れてのリフレッシュの機会や参加者との意見・情報交換の機会、また専門家による講習会を実施し、障害福祉制度に関する正しい知識や日常生活に役立つ情報を学び習得する機会を与える。これにより在宅で暮らす重症児(者)が地域で生きる力と将来への希望を獲得する。

#### (2) 実施内容

<http://www.normanet.ne.jp/~ww100092/hojyojigyuu26.html>

##### 【巡回療育相談】

医師・看護師・専門指導員(保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・相談支援専門員等)・地域の公的機関の職員及び当会(本部・東京)から派遣したケースワーカー等で巡回療育相談班を編成し実施地に派遣し、在宅で暮らす重症児(者)とその保護者に対する診療及び療育に関する相談に応じ親たちを指導した。実施地区の実情に応じ、会場形式か家庭訪問形式で実施した。

実施地は、山形県・福島県・愛知県・愛媛県・熊本県の5地区で次の通り実施した。

(別紙5)

① 山形県

平成26年10月11日(土) デイサポートセンターにじいろ(会場3名)

(相談班の編成) 医師1名・看護師1名・専門指導員11名

② 福島県

平成26年11月8日(土) 玉川村保健センター(会場3名)

平成26年11月9日(日) コパंकラージュ(会場4名)

(相談班の編成) 医師1名・看護師3名・専門指導員7名

③ 愛媛県

平成26年12月7日(日) 大洲市・西予市他(訪問3名)

平成26年12月8日(月) 新居浜市・西条市(訪問4名)

(相談班の編成) 医師2名・看護師1名・専門指導員7名

④ 愛知県

平成27年1月17日(土) むつみグリーンハウス(会場3名)

平成27年1月18日(日) 名古屋市(訪問2名)

(相談班の編成) 医師1名・看護師1名・専門指導員6名・名古屋市職員1名

⑤ 熊本県

平成27年2月28日(土) 荒尾市ふれあい福祉センター(会場5名)

平成27年3月1日(日) 障害者支援施設けやき(会場11名)

(相談班の編成) 医師1名・看護師1名・専門指導員7名

(別紙5)



医師による診察



医師による診察

(別紙5)

【集団指導】

在宅で生活をする重症児（者）とその家族を対象に1泊2日の集団指導療育キャンプを実施した。

医療的に重度な重症児（者）も安心して参加できるよう医師・看護師の医療スタッフの他にも専門指導員（保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士等）・補助員等専門スタッフを多めに配置した。

実施地は、栃木県・岡山県・北海道・新潟県・石川県・大阪府・千葉県の7地区で次の通り実施した。

① 栃木県

実施日時 平成26年7月19日～20日

実施場所 塩原温泉ホテル「ニューもみぢ」、(栃木県那須塩原市)

参加者67名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
29名	13名	14名	11名	67名

② 岡山県

実施日時 平成26年8月23日～24日

実施場所 旭川荘療育・医療センター通園センター（岡山県岡山市）

参加者61名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
8名	8名	24名	21名	61名

③ 北海道

実施日時 平成26年8月30日～31日

実施場所 定山溪温泉ホテル鹿の湯（北海道札幌市）

参加者84名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
26名	20名	12名	26名	84名

(別紙5)

④ 新潟県

実施日時 平成26年9月6日～7日

実施場所 小国町法末自然の家やまびこ（新潟県長岡市）

参加者45名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
15名	10名	9名	11名	45名

⑤ 石川県

実施日時 平成26年10月4日～5日

実施場所 かんぼの郷白山尾口（石川県白山市）

参加者27名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
7名	7名	8名	5名	27名

⑥ 大阪府

実施日時 平成26年11月22日～23日

実施場所 ホテルセカンドステージ（香川県高松市）

参加者40名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
11名	11名	9名	9名	40名

⑦ 千葉県

実施日時 平成26年11月29日～30日

実施場所 ホテルふじ（山梨県笛吹市）

参加者54名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
19名	14名	17名	4名	54名

(別紙5)



ホテル前での集合写真



散策の様子

## 2 予想される事業実施効果

### 【巡回療育相談】

今年度も相談を終えた相談者の顔にはホッとした笑顔を見ることができた。病院での診察や役所での面談とは異なり、ゆっくりと時間をかけて悩みを聞くこの相談会では相談者も終始リラックスした雰囲気ですべて話をする事ができる。本人の障害や病気のことだけではなく、普段なかなか口に出せずにいた自分自身の体調の不安、家族内の問題、きょうだい支援の問題など相談内容は多岐に渡り、それに対して様々な職種で対応し適切に丁寧な助言を行うことで、相談者も納得の行く答えを得ることができた。相談中には今まで抱えていたつらい思いが溢れ、それに対し温かい言葉をかけてもらったことで涙を流す者も多くいた。

主治医以外に地域で自分たちのことを知ってくれている医師や看護師ができることは保護者にとっても本人にとっても心強いものである。特にその地域で長く重症児(者)医療に携わっている医師は持っている情報量も多く、相談者にとっては非常に有益な相談会となっている。

また、参加したスタッフの横のつながりを作る機会にもなっており、その後各地域での重症児(者)への支援がスムーズに進むことも期待される。

相談班に地域で活動している保護者も入ることで、終了後にも身近でフォローできる態勢を整え、共に活動できる仲間作りも目指している。

### 【集団指導】

普段は自宅と通所施設の往復のみという家庭も多くある中で、この集団指導は唯一親子で出かけられる貴重な機会となっている。

ボランティアとの長時間にわたる交流や温泉入浴・花火・キャンプファイヤー・観潮船乗船体験・オルゴールセラピー・散策・音楽プログラム等の様々なプログラムは重症児(者)にとって非常に刺激的であり、情緒面での成長も期待される。実際に事業終了後には、情緒が安定し笑顔が増えた重症児(者)の姿を見ることができた。

普段重症児(者)の介護に追われている保護者も本人から離れてゆったりとした時間を過ごすことでリフレッシュの機会を得ることができ、このキャンプのおかげで明日からの生活をまた頑張れるといった感想が多く聞かれる。

また集団指導で医療的に重度な重症児(者)がホテル・レストラン・一般の施設(遊園地・美術館・乗り物等)を利用することで、従業員だけではなくその場に居合わせた一般の利用客へも重症児(者)への理解を深めてもらう良い機会となっている。

(別紙5)

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会  
（シャカイフクシホウジンゼンコクジュウショウシンシンショウガイ  
ジ（シャ）ヲマモルカイ）

住 所： 〒154-0005  
東京都世田谷区三宿2-30-9

代 表 者： 理事長 有馬正高（リジチョウ アリママサタカ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 桜田 久美子（サクラダ クミコ）

電 話 番 号： 03-3413-6781

F A X： 03-3413-6919

E - m a i l： [mamorukai@msi.biglobe.ne.jp](mailto:mamorukai@msi.biglobe.ne.jp)

U R L： <http://www.normanet.ne.jp/~ww100092/>